

消化器外科・移植外科

診療科名	消化器外科・移植外科
科長名	河地 茂行
診療科概要	<p>1) 2年間の初期臨床研修を修了した医師に対して、外科のより専門的知識と臨床能力の向上を計るとともに、外科専門医としての知識、技能を修得させる（外科専門医取得）。</p> <p>2) 研究に従事して学位を取得させる（学位取得）。</p> <p>3) 消化器外科全般の基本的手技を習得させる。</p> <p>4) 臓器移植（肝、膵）のスペシャリスト養成のための臨床研修および研究をさせる。（移植認定医取得）</p> <p>5) 各関連外科（サブスペシャリティ）の基礎部分（共通総論）を包含して、修練させる（内視鏡外科技術認定医、消化器外科専門医取得）。</p> <p>6) 日本肝胆膵外科学会の高度技能専門医修練施設に認定されているので、同専門医が取得できる。</p> <p>7) 1～2年間関連施設において臨床の最前線の経験を積ませる。</p> <p>8) 院内他科へのローテーションが可能である。</p> <p>9) 国内、国外留学が可能である。</p>
指定研修施設の名称	日本外科学会、日本消化器外科学会、日本肝胆膵外科学会 日本肝臓学会、日本内視鏡外科学会
修養年限	平成31年度専門研修プログラムを参照
プログラム内容	平成31年度専門研修プログラムを参照
外科専門医修練カリキュラム抜粋（日本外科学会に準拠する）	
1. 一般目標	
1) 一般目標1（総論的）	
国民のニーズにこたえるべく、レベルの高い均質な、包括的で全人的な外科診療を実践できる専門医を養成するため、以下の4項目を到達目標として、段階的に進む研修を実施する。研修期間は修練開始登録を行った後、卒後初期臨床研修を含み5年以上とする。	
1) 外科専門医として、適切な外科の臨床的判断能力と問題解決能力を取得する。	
2) 手術を適切に実施できる能力を習得する。	
3) 医の倫理に配慮し、外科診療を行う上での適切な態度と習慣を身に付ける。	
4) 外科学の進歩に合わせた生涯学習を行うための方略の基本を習得する。	

2) 一般目標2 (各論的)	
卒後初期臨床研修を修了した後、外科学総論、基本的手術手技および一般外科診療に必要な外科診療技術を習得する。また、外科サブスペシャリティの特徴もさせる。	
2. 到達目標	
1) 到達目標1: 外科診療に必要な基礎的知識を習熟し、臨床応用できる(14項目)。	
2) 到達目標2: 外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟し、それらの臨床応用ができる(6項目)。	
3) 到達目標3: 一定レベルの手術を適切に実施できる能力を習得し、その臨床応用ができる。	
① 消化管および腹部内臓(50例)	
② 乳腺(10例)	
③ 呼吸器(10例)	
④ 心臓・大血管(10例)	
⑤ 末梢血管(頭蓋内血管を除く)(10例)	
⑥ 頭頸部・体表・内分泌外科(皮膚、軟部組織、顔面、唾液腺、甲状腺、上皮小体、性腺、副腎など)(10例)	
⑦ 小児外科(10例)	
⑧ 各臓器の外傷(多発外傷を含む)(10例)	
⑨ 鏡視下手術(腹腔鏡、胸腔鏡を含む; 上記のうち、各分野における各種手術)(10例)	
4) 到達目標4: 外科診療を行う上で、医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身に付ける。	
5) 到達目標5: 外科学の進歩に合わせた生涯学習を行う方略の基本を習得し実行できる。	
スタッフ紹介	河地 茂行 主任教授 (代表指導責任者)
	片柳 創 講師
	久田 将之 講師
	千葉 斉一 講師
	田淵 悟 助教
	新後閑 正敏 助教
	乗原 寛 助教
	筒井 りな 助教
	富田 晃一 助教
	佐野 達 助教
	小林 敏倫 助教
	疋田 康祐 助教
	横塚 慧 助教
	処遇
給与: 学内規定に従う、外勤(1日/週)	
保険: 東京医科大学社会保険(健康保険・厚生年金)	
住居: センターからの援助あり	
連絡先	東京都八王子市館町1163
	東京医科大学八王子医療センター 消化器外科・移植外科(千葉)
	TEL; 042-665-5611 FAX; 042-665-1796
	E-mail; yu70@tokyo-med.ac.jp